

CFRPの利用技術の現状と課題

CFRP (Carbon Fiber Reinforced Plastics) 炭素繊維と樹脂との複合材料で炭素繊維強化プラスチック

AMPI先端ものづくり技術講演会

主催：(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 (AMP I)

予定 共催：(協)尼崎工業会、(一財)明石市産業振興財団

後援：尼崎商工会議所、(公財)尼崎地域産業活性化機構

日時：平成28年7月7日(木) 14時00分～16時40分

場所：エーリック(尼崎市道意町7-1-3) 2F 小ホール (AMPI北隣)

参加費：無料 締切：7月1日(金) 定員：50名

(1)特別講演 14:05～15:15

「CFRPをものづくりに適応するための一連の技術開発」

—岐阜大学複合材料研究センターの取組み紹介—

岐阜大学複合材料研究センター センター長 三宅 卓志 氏

CFRP を使用してものづくりを行おうとすると、技術や装置が圧倒的に不足しており、その上コストも高いことがネックとなる。これらを解消するためには、必要な技術を一連で開発する必要がある。低コスト化から高信頼性まで、ものづくりを実現するために岐阜大学複合材料研究センターで取組んでいる技術チェーンの開発について紹介する。

(2)特別講演 15:30～16:40

「自動車へのCFRP採用の現状と課題」

金沢工業大学大学院工学研究科 高信頼ものづくり専攻 教授 (元 トヨタ自動車株式会社) 影山 裕史 氏

近年、自動車用材料としてCFRPが注目され、スーパーカーだけではなく、BMW i3やトヨタ Miraiなどの電気自動車(EV)や燃料電池 (FCV)といった量産レベルの環境車両にも採用されるようになってきた。今後も大きな期待をかけられる材料である。

ただ、CO₂問題などに大きく貢献するには数を出していく必要があり、そのためにはCFRPならではの設計や大量生産技術、更にはビジネス展開が必要になる。CFRPは、まだまだこれらを推し進めていく面での課題も多く、ここでは、さまざまな観点から自動車CFRP材料の課題を共有するとともに、開発の方向性を理解しながら、一対策案に関して議論してみたい。

※ご記入いただきました個人情報につきましては、最大限の注意をもってお取り扱いいたします。また、事務連絡のほか当財団が提供するサービスについてのご案内、ご連絡のみに活用させていただきます。

申込書 (申込書をFAXするか、必要事項を記載してメール下さい)

会社名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
(ふりがな) 参加者氏名 部署名			

お問合せ
お申込先

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI) ものづくり支援センター 技術支援部

〒660-0083 尼崎市道意町7-1-8

☎ 06-6412-7736

📠 06-6412-8266

✉ monodukuri@ampi.or.jp

FAX,TELとも繋がらないときは番号の前に186を付けてかけ直して下さい。